

どんな時に浸水が起きるの？

浸水発生メカニズム

内水氾濫の発生

洪水(外水氾濫)の発生



非常に激しい雨が降ると



雨水が下水道などで全て排水できずたまります。



さらに雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊するおそれがあります。

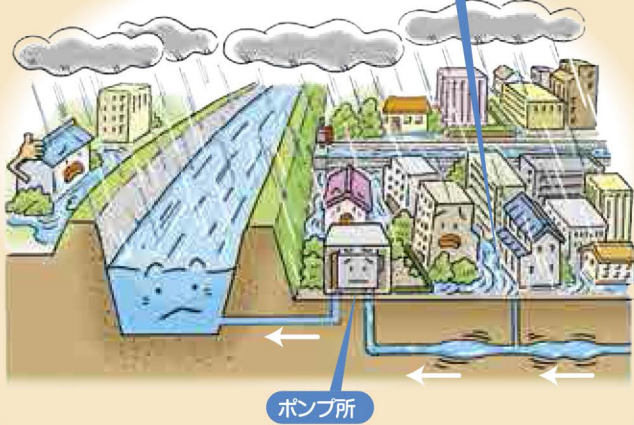


堤防が決壊すると多大な被害が発生します。

内水氾濫

雨の量が下水道などの排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったとき、雨水を排水できなくなり、浸水することがあります。このような現象を「内水氾濫」といいます。ご自宅周辺で、道路冠水が始まった場合は、内水氾濫が発生する前兆ですので注意が必要です。

降った雨が下水道の能力を超えると浸水します

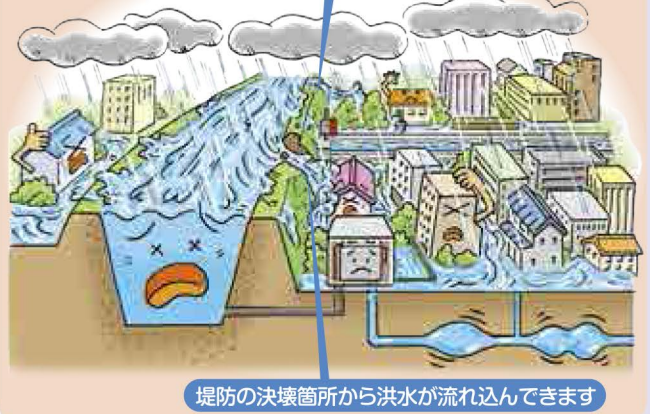


ポンプ所

洪水(外水氾濫)

大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。このような現象を「洪水(外水氾濫)」といいます。ご自宅周辺の堤防に亀裂が生じたり、水が噴出している場合は、堤防の決壊が起こる前兆ですので注意が必要です。

堤防を越えて洪水が流れ込んできます



堤防の決壊箇所から洪水が流れ込んできます

排水ポンプの運転調整(ポンプ排水を停止する場合)

通常時

通常の雨では河川の水位に余裕があるので、ポンプで安全に流します。



ポンプ所(運転中)

大雨時

大雨によって河川の水位が高くなると、堤防の決壊を防ぐため、やむを得ずポンプの運転を止めることがあります。これにより、内水氾濫による浸水が大きくなる可能性があります。



ポンプ所(停止中)